



# ひかしなるせ

## 議会だより

発行  
No. 142  
平成18年10月20日

Shocking Autumn

燃える焼石 2006.9.26



議場を訪れた

こんなことが  
決まりました

九月十四日から二十一日までの会期で定例会が開かれ、平成十八年度の各会計補正予算や平成十七年度の各会計決算認定並びに各種条例の制定及び改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案を全会一致で「原案可決・承認・同意・可とする答申」をした。

## 9月定例会



佐々木慶子 氏  
61歳  
田子内字田子内152  
【新任】

前任者の辞任に伴う人権擁護委員については次の方を推薦することに満場一致で「可とする答申」をした。

### 人権擁護委員の推薦に可とする答申



佐々木芳隆 氏  
64歳  
岩井川字東村78-2  
【再任】



佐藤 良徳 氏  
66歳  
岩井川字東村 3  
【再任】

任期満了による教育委員会委員については次の二名を任命することに満場一致で「同意」した。

### 教育委員会委員の任命に同意

## 平成17年度 秋田栗駒リゾート(株)営業報告

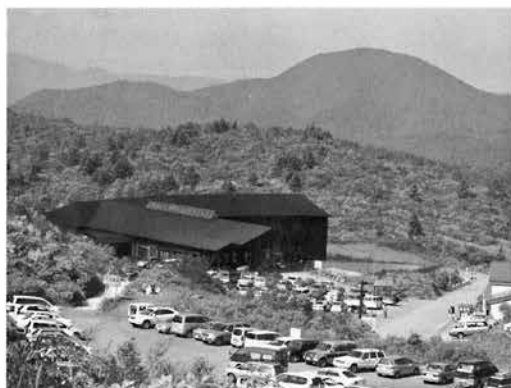
会社全体の総売上は5億2千275万円で、前年と比較して841万円の増となった。

しかし、経常利益は前年の1千286万円に対して886万円減の400万円にとどまり、辛うじて6年連続の黒字決算となった。

部門別では栗駒山荘とパークゴルフ場が業績を伸ばし部門利益をプラスとしたが、スキー場・ホテルプラン・休養センターは前年度実績を割り込み、部門利益は大幅なマイナスとなった。

各施設の営業実績の概要は以下のとおり。

施設名	年度	営業日数(日)	利用者数(人)	売上高(万円)
スキー場	17年度	115	58,907	7,180
	16年度	95	58,844	7,458
	比較	20	63	△278
栗駒山荘	17年度	190	87,479	26,931
	16年度	194	80,000	25,556
	比較	△4	7,479	1,375
ホテルプラン	17年度	—	35,234	17,230
	16年度	—	37,409	17,521
	比較	—	△2,175	△291
休養センター	17年度	176	6,059	557
	16年度	184	6,869	565
	比較	△8	△810	△8
パークゴルフ場	17年度	177	6,644	375
	16年度	184	5,998	332
	比較	△7	646	43



栗駒山荘 紅葉のにぎわい



東小6年生が

### 村営土地改良事業分担金の徴収

農業用水路整備事業(中山間地域総合整備事業)に係る分担金について次のとおり徴収することとした。

◆馬場	分担金総額	百一十三万三千円
	分担面積	四十三・七九ha
	分担基準	十アール当 二千五百四十二円
◆川通	分担金総額	百八十一万円
	分担面積	十五・五ha
	分担基準	十アール当 一万千六百七十八円

# 青少年山の家建設工事など 2億3千973万5千円追加の一般会計補正予算を可決

案 件
秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出 (3ページに関連記事を掲載)
人権擁護委員の推薦 (2ページに関連記事を掲載)
東成瀬村国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例 (法律の規定による)
東成瀬村国民保護協議会条例 (法律の規定による)
東成瀬村国民健康保険条例の一部を改正する条例 (一部負担金の割合及び出産育児一時金の改正)
東成瀬村短期入所生活介護事業所利用料条例の一部改正 (障害者自立支援法施行による)
東成瀬村ふる里館設置条例の一部を改正する条例 (指定管理者制度導入を図るため)
平成18年度村営土地改良事業〔成瀬東部地区中山間地域総合整備事業農業用用水路(馬場)〕 分担金の徴収について (3ページに関連記事を掲載)
平成18年度村営土地改良事業〔成瀬東部地区中山間地域総合整備事業農業用用水路(川通)〕 分担金の徴収について (3ページに関連記事を掲載)
東成瀬村教育委員会委員の任命 (2ページに関連記事を掲載)

- ◎大柳克雪センター等改修工事費・・・・・・・・・・ 280万円
- ◎公有林整備管理委託料追加・・・・・・・・・・ 334万円
- ◎草の台バス回転場設置費・・・・・・・・・・ 209万円
- ◎旧手倉児童館補修補助金・・・・・・・・・・ 100万円
- ◎行政情報電子化委託料・・・・・・・・・・ 72万円
- ◎平良交流センター維持管理費追加・・・・・・・・ 50万円
- ◎公営住宅建設本工事費減・・・・・・・・・・ △305万円
- ◎消防操法秋田県大会出場経費・・・・・・・・・・ 85万円
- ◎防災用品購入費・・・・・・・・・・ 180万円
- ◎成瀬ダム事業関連用地購入費・・・・・・・・・・ 296万円
- ◎財政調整基金積立金追加・・・・・・・・・・ 1億2,000万円
- ◎青少年山の家建設工事費・・・・・・・・・・ 4,304万円



解体新築される青少年山の家(入道)

## 皆さんからの請願・陳情

9月定例会に提出された請願・陳情は次の案件を採択と決定した。

1. 「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情  
全国労働組合総連合 議長 坂内 三夫
2. 第6回湯沢雄勝農業者大会における「農業の確立と所得保障に関する決議」の実現を国に要望する陳情  
第6回湯沢雄勝農業者大会会長 湯沢市農業委員会会長 高橋 喜晃 外1名
3. 行き詰まったWTOに代わる、食糧主権にもとづく貿易ルールと農業・食糧政策の確立を求める陳情  
農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門

〔 1の陳情については、7月に当議会独自で同趣旨の意見書を送付済。  
2～3の陳情については、今回、国など各関係機関に意見書を送付した。〕

# 主な予算・条例など

## 18年度一般会計補正予算の主なもの

### 【歳入】

- ◎個人村民税増・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 310万円
- ◎固定資産税増・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 382万円
- ◎地方交付税増・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,057万円
- ◎財産貸付収入増・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,087万円
- ◎老人保健特別会計繰入金増・・・・・・・・・・ 191万円
- ◎前年度繰越金増・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,557万円

### 【歳出】

- ◎患者輸送車購入費・・・・・・・・・・・・・・・・ 708万円
- ◎保健センター外壁工事設計等委託料・・・・ 338万円
- ◎保健センター外壁工事費・・・・・・・・・・・・ 3,344万円



医療・福祉の核 保健センター

- ◎農業用水路改修等資材費追加・・・・・・・・ 314万円
- ◎中山間地域直接支払制度交付金追加・・・・ 72万円
- ◎ウレイ農道整備関係費用追加・・・・・・・・ 311万円
- ◎椿川農村公園工事費追加・・・・・・・・・・・・ 200万円



地域のいきこの場に

案	件
平成18年度一般会計補正予算(第2号)	(2億3,973万5千円 追加)
平成18年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	(4,641万6千円 追加)
平成18年度国保特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)	(492万6千円 追加)
平成18年度老人保健特別会計補正予算(第2号)	(191万5千円 追加)
平成18年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	(790万1千円 追加)
平成18年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)	(1,378万7千円 追加)
平成18年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	(76万5千円 追加)
平成18年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	(99万9千円 追加)
平成17年度一般会計歳入歳出決算認定について	
平成17年度国保特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	
平成17年度国保特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算認定について	
平成17年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	
平成17年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について	
平成17年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について	
平成17年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
平成17年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	

# 一般質問

伊勢谷 政 雄 議員

## 危険地域の現地表示はあるか

### 村長／土石流・地滑り指定地域は表示



**問** 住民の生命財産を守るの  
は、行政の基本と思う。

近年の災害は、私たちの予想を超えた大きな災害をもたら  
し、尊い生命財産を失う惨  
事が度々起きている。

村の危険地帯での防止対策  
と、現地への看板等の設置は  
行っているか。

**村長** 土石流、地滑り指定地  
域などの危険箇所は県が看板  
等の設置を行っているが、雪  
崩危険箇所等について村では  
特に看板等の設置は行ってい  
ない。その都度、臨時の案内  
標識で注意を促している。

また、土石災害防止月間、  
雪崩危険箇所等については、  
毎年パトロールを実施してい  
る。

#### 防災活動に

#### 消防団員の連携強化を

**問** 災害に備え、初期活動に  
消防団員との協力、連携の強  
化が必要ではないか。消防団  
員は、日常活動を通して地域  
の状況把握などを含めて能力  
と機動性は十分にある。村長  
の考えを伺う。

**村長** 消防団員との連携は、  
幹部に対して防災無線の子機  
を配備して、緊急時の対応に

備えている。

また、幹部会等で常に連絡  
が取れるように体制について  
協議している。電話回線が切  
れた場合の対応として、屋外  
拡声器システム用に今回の補  
正で発電機等の設置を行い、  
各集落への情報提供の体制充  
実に努めている。

#### 積雪時の対策が重要だ

**問** 村の場合、積雪時に強い  
地震などがあつた場合、予想  
できない被害規模があるかも  
しれない。そのための対策を  
作っておくことが大事と思っ  
た。

**村長** 積雪時の地震対策につ  
いては課題が多いが、基本的  
には雪下ろしの励行を徹底し  
て行わなければならないと考  
えている。広域消防・消防団  
等との連携や雪下ろしボラン  
ティアの協力もいただきなが  
ら進めたい。

今後は、集落ごとに重機等  
の借上げを考慮し、緊急時の  
対応に備えたい。

#### 村委託施設の

#### 修理費等の見直しを

**問** 指定管理者制度で委託し  
ている村営施設の修理費は、

概ね百万を超える場合は村の  
支出で修理が行われているが、  
村はまちづくり計画を策定し、  
事業見直しを進めている。

今後も地方交付税などの減  
額が予想される。修理費の見  
直しが必要ではないか。

**村長** 修理費の見直しについ  
ては、全て村が負担するので  
はなく一定規模以上の修繕を  
要する場合、村が整備した施  
設は責任をもって対応してい  
かなければならないというの  
が基本姿勢だ。

指定管理者制度で良好な成  
績が収められるようになった  
ときは、検討が必要となる。

(文責は質問議員)



秋田県消防操法大会に出場  
(消防団第3分団)

#### 他の質問項目

- ・ダム事業に係る環境施策について
- ・農業活性活性化対策について





佐々木 健 夫 議員

## 土木工事にも村外業者を入れるべきでないか

村長／村民雇用などから村内業者指名でいきたい

**問** 村のインターネットの公共工事情報は、まだ昨年の四月から十月までの三十五件の情報であるが、このうち村内業者のみの土木工事の入札は二十七件で、平均落札率が九十七・四％と村外業者分よりも一・六％高い。また、先の八月広報の四月から五月までの入札状況でも、村内業者土木工事の落札率のほうが二％高くなっている。

村長は、入札予定価格を下げることは根拠がないためできないと言いが、まず、大きい土木工事だけでも村外業者を入れてみることは考えられないか。

**村長** 入札業者は、指名委員会を選定するが、落札率が高い低いが入札する方々の競争原理でやっていたたくしかなく、私の立場でどうこう言う訳にはいかない。村内土木業者でも県工事のA級・B級でやっている方もおり、村内業者育成や村民の雇用の場の確保の観点から、今後も村内業者でできるものは村内業者でやってみよう考えである。

### 村の債務に第三セクの債務が関わる報道があったが

**問** 国では、市町村の借金に第三セクターなどの債務を加えることを検討するとこの報道があった。村の第三セクターの平成十七年度決算では欠損金(累積赤字)が三億五千万円ありあるが、これから株主の出資金二億四千五百万円等を差し引きしてもまだ九千九百万円赤字が残る。村の出資金は一億五千万円であるが、現時点ではゼロに等しい。このような状態が長く続いた場合、この出資金が村の借金の上昇に関わってこないか。

**村長** 会社の固定負債は一千六百二十万円であり、これについては村で債務保証はしていないし、欠損金は会社のこれまでの営業累積額であり、出資金の範囲内での保証はしなければならぬということはあるが、現金を三億五千万円借りているというものではないので、村の債務には関わってこないと思っている。

### 天神林入口、旧国道の橋拡幅改良できないか

**問** 伊達堰に架かったこの橋

は、車で上つてくるときカーブで左側欄干が邪魔であり、以前から危険だと言われている。また、橋のかみしもの歩道も切断された状態で、橋の上で車と歩行者の交差が危険だ。今は、村道であり村の判断で改良できると思うので、拡幅改良ができないか。

**村長** この道路は、前は県管理の道路で、条件も悪く構造的にも難しいことで、県でも改良できなかったようだ。現在はバスができて大型車も殆どそちらを通り交通量が減ったと思う。危険度などを優先して検討したいが、当面はグリーンベルトなどを整備して交通の安全を図りたい。

(文責は質問議員)



天神林付近の旧国道

### 他の質問項目

- ・村道の白線表示について

# 平成17年度 決算審査

## 一般会計・特別会計総額 52億円余りを認定

平成十七年度の一般会計と特別会計八件に関する歳入歳出決算の審査は議長と監査委員を除く十二人の議員で構成する決算特別委員会（委員長・鈴木秋雄）を設置して、九月十九日と二十日の二日間にわたりに行われた。その結果、すべての決算を認定すべきと本会議に報告。本会議でも全会一致で認定することに決定した。一般会計歳出に関する主な質疑の概要を報告する。

### 畜産の今後の方針は

**問** 後期の過疎地域自立促進計画で和牛のブランド化を掲げているが、現実には親牛が七十頭を切り、頭数が増えない状況だ。振興に向けた今後の基本的な方針を聞く。

**答** 畜産の振興は村にとって極めて重要と捉え、各種の発展計画などに盛り込んでいる。何人かによる共同化や空いている畜舎等の有効利用等といったことも考えられるが、農業従事者の高齢化という大きな課題があり現状は厳しい状況だ。現在畜産に携わっている方だけ頑張ってもらえない、その間に和牛改良組合や受精卵組合等と協議して後継者の育成や頭数が増える施策を具体化していきたい。

### ドック受診者数の減は

**問** 脳ドックや一日人間ドックの受診は健康管理上大事なことであり需要もかなりあると思うが、受診者数が減っている。このわけは。

**答** 脳ドックは奇形の発見が第一の目的であり、一回受診すればまずは本来の目的を果たすと考えている。対象者の五割は受診済となった今、これまで受診機会がなかった方にまず一回受けていただきたく補助対象を四十才としたものだ。人間ドックは二十年前から実施しているが受診者が同じという傾向があるため、五十才という節目の方のみを補助対象とした。対象者をこのように限定したための減と考えている。

### 広域入所の保育料

**問** 村外の公立保育所に入所した場合、かなり増した分の保育料は村の負担となる。これを個人負担とすることができると。できるだけ村の保育所を利用していただきたいという意味を含めてあえて聞く。

**答** 村内外どこの保育所でも同じ負担で保育を受けることができるように、保育料の差額は行政で負担する制度となっており、個人負担とすることはできない。

### 生活道路整備事業の成果

**問** 地区からの要望により実施する生活道路整備事業等について、村では地区からの応分の負担のもとで行って二年ほどになるが、これの成果は。

**答** 財政上、全額公費負担で、できない事業については地区からの協力を得て事業を実施しているが、できるだけ地域の負担軽減を図るように努力して工事費などを算出しており、概ね好評を得ている。



ひがしなるせ議室より/平成18年10月号 8





山の香あふれるいものこ汁に舌鼓

「夢・なるせ直売所」の売上は

**問** 地場農産物販売対策補助金として、「夢・なるせ直売所」に三十七万円支出されているが、総売上はどれくらいか。

**答** 昨年は六月十八日から十月三十日までの土日祝祭日に直売を行ったが、総売上は百七十万二千四百十円であった。

農村公園の管理は

**問** 農村公園の管理は村でおこなっているところと集落でおこなっているところがあるがこれの区分は。公園内の街灯の電気料金も同じ扱いか併せて聞く。

**答** 観光的な色彩が強く不特定多数の方が使用する頻度が高い不動滝公園と城下公園は村の管理で、その他の公園は集落で使用する割合が高いので集落管理としている。街灯の電気料金も同様である。

職員による広報配布は

**問** 従来、行政協力員が行っていた広報配布などを昨年四月から職員が行っている。村民の評価は。

**答** 今春、一人暮らし老人世帯等にアンケート調査などを実施したが大変好評であった。いろいろな相談や役場への願い事も頼めるので、今後も継続してほしいという要望が多くあり継続していく予定だ。

中山間地域等  
直接支払の交付時期は

**問** この交付金が集落へ交付されるのは三月末頃のため、支払いの関係で事業の実施を翌年度へ繰り越す必要が出てくる場合がある。もっと早い時期に予定額の半額を交付するなど何らかの方策はないものか。

**答** 春の説明会でも各集落からそのような要望があり県にも打診したが、基本的には前金払いはできないという回答だった。県からの交付決定通知後の交付が原則のため村単独での交付もできないとのことであった。

村民スポーツ祭の総括は

**問** 十八年度からは今までの「村民スポーツ祭」から「村民スポーツ月間」に切り替えて実施すると聞く。これに至るまでの総括は。

**答** 村民スポーツ祭では、著名なスポーツ関係者を講師に招き大きなイベントも実施してきた。参加者の意見は概ね好評であったが次第に参加者数が伸び悩んだ。このため今年度からは村体育協会主催により村民が気軽に参加できるスタイルの「村民スポーツ月間」として計画をしたものである。

橋りょう維持費の内容は

**問** 村内の橋の強度の調査を実施したと聞くがその結果は。

**答** 十二橋・のぞき橋・真戸橋・手倉橋・耳脇橋等の調査をした。欄干下部の地覆部分の凍結融解によるコンクリートの破損や、橋台桁の支承部分に水が入り込み傷んでいるところが何カ所あった。来年度以降の地方道路整備交付金の補助事業で整備していきたい。



ニュースポーツのキンボール競技

# 視察レポート

議会では7月24日から26日にかけて、常任委員会合同により行政視察を実施した。各委員会ごとに「農林業振興対策」や「行財政改革の取り組み」等を主な課題として、新潟県朝日村と津南町を訪問しその先進事例を学んだ。以下、その概要を報告する。

## 豪雪とコシヒカリの津南町

産業建設常任委員 佐々木 正 夫

津南町は、新潟県の最南端にあって、千曲川が信濃川と名を変える長野県境に位置し、町の南西から北東に流れる信濃川とこれに合流する幾つかの河川によって、雄大な河岸段丘が形成されている。日本の各地には、多くの河岸段丘があるが、町の面積約171平方キロメートルの約20%もの面積を占めるのはめずらしいことで、日本一の河岸段丘である。

冬期間が長く、日本有数の豪雪地帯である一方、夏は北西の涼風に恵まれ、高原のようなさわやかな気候が続くそうだ。今回、研修として農林業振興対策及び防災対策について職員の方々の話を聞く機会を得た。その一端を報告し今後の参考にしたいと思う。

津南町は農林業を基幹産業とし、稲作とアスパラガスを中心とする営農である。現在日本で米のトップブランドとして知られているコシヒカリだが、その中でも魚沼地方で栽培されるコシヒカリは日本一の良食味と評価されている。

しかし、津南町の農業従事者の現状を聞くと、当村の現状と同様で、高齢化が進み農作業体系の見直しを迫られているようであった。このため、平成5年に農業公社を設立して、農業の担い手対策や、農作業の支援、農用地の保全、機械化体系の確立と家族経営によらない組織経営等を行っている。また、主に関東方面から農業への新規参入者を受入れ、その研修を図りながら農業者の育成などにも力をいれている。

農業関係の施設も充実していて、自然乾燥と同条件でじっくりと籾の乾燥を行うライスセンターや真空で素早く冷却することができる野菜集出荷施設。そして牛糞、籾殻、残飯等を利用して堆肥にする堆肥センター。住宅解体材、杉皮を原材料として再利用する炭化施設等は当村にも必要な施設であると感じた。



津南町では産業振興対策を

## 行政改革に取り組む朝日村

総務教育民生常任委員 佐々木 喜榮知

新潟県北部に位置し標高2,000m弱の西朝日岳を臨む人口11,900人強、面積約600km<sup>2</sup>と人口・面積共に東成瀬村の3倍の大きさの小集落の集合村である。縄文時代の遺跡群もあり朝日連峰の山懐にある鳴海金山は慶長3年の記録では全国金産出量の3分の1を占めたという豊かな自然と共に発展してきた地域であった。

現在では観光物産館を取り巻くように温水プール、休養宿泊施設、またぎの家や体育館等素晴らしい施設が整備されている。

村の予算書からも福祉に意を用いた施策が伺える一方、行財政の改革も交付税等依存財源も少なくなっているところから機構の統廃合や三役の給与10%削減を始め、職員給与削減、事務事業の再編成など、また議員定数も18名を14名に削減するとし、集中改革プランも今年3月に策定している。その中で指定管理者制度の活用を大幅に取り入れ今年4月から26施設、19年からのもの20年からのものと相当数の施設を計画している。

平成17～21年までの経費削減など財務効果を7億3千3百万とし、数値目標まで設定して取り組んでいる。

当面の課題としては19年度合併に向けて協議会を進めており、さらに村全体の70%のテレビ難視聴地域の解消やインターネットの環境整備、上下水の普及率向上も重要な問題であり、また日本海沿岸東北自動車道に朝日村から直接乗り入れできるように運動している。

また、現在46集落の施設廃止の資金数千万円の捻出方法に苦慮している。いずれ頑張れば良い結果をだして欲しい。その暁には日量125tの焼却能力を持つゴミ処理施設やあの素晴らしい福祉施設の活用も負担ではなく有効有益な施設となるであろう。



朝日村では行政改革を

# 行政 報告

## カントリーパーク事業今年度で完成



村 長

▼本村消防団の第三分団が、県消防協会支部大会で完全総合優勝。全県大会では小型ポンプ操法の部で第五位と大健闘をした。

▼中山間地域総合整備事業は、現在ウレイ農道・椿川農村公園・平良集落道・二階野集落道・八寺農道・馬場及び川通水路が工事中。入道の農道についても測量設計が行われており、早期完成を目指す。

▼カントリーパーク事業は今年度完成に向けて工事が進められており、十月に竣工式を

予定している。パークゴルフ場の利用者は八月末で四百七人で、伸び率は少ないが毎年確実に伸びてきている。

▼成瀬ダム事業では、付替国道にかかるトンネル工事が約四百五十m掘り進められており順調に推移している模様。また、橋梁下部工事は、橋脚を施工するための仮橋脚の設置と橋脚の深礎杭の掘削が進められており、順次、躯体工の一部に取りかかるようだ。

▼村営住宅二階野団地整備については、平良交流センター

の完成をもって、当初計画された事業が全て完了。今後は新たなニーズを調査し、必要性を認めた場合には新たな整備について検討をする予定。

▼合併処理浄化槽設置事業は、本年度事業計画基数百五十基に対し七十三基を既に発注。今月中には二十七基を発注予定で、合計百基になる。

▼水稲の作柄状況は、秋田県南地区は「平年並み」と予想されている。今後も台風の襲来などがなく、無事に収穫できればと願っている。



さて、今年の出来ぐあいは…



教育長

### 「村民スポーツ月間2006」 に多くの参加を

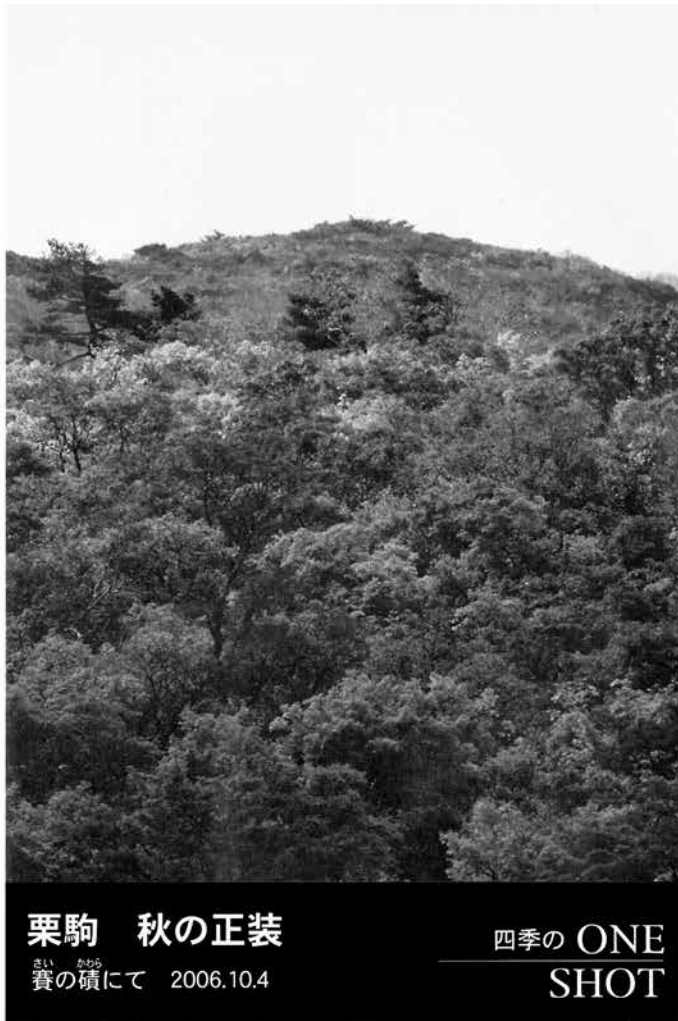
▼東成瀬小学校6年生の高橋風香さんが、8月26日の全国小学生陸上競技交流大会に出場。女子走り高跳びで第2位という快挙を達成し、村民に大きな感動と勇気を与えてくれた。

▼中学校体育館の大規模改造工事は、8月28日に無事終了。10月22日には「東成瀬中学校創立60周年・統合30周年記念式典」を計画している。

▼埼玉県でのプール事故発生直後、村内のプールの安全点検を実施。中学校プール排水口蓋の固定用ボルトが一部欠落していたが、安全面に問題は無いと判断。引き続き使用した。

▼子どもの安全確保については、「なるせ防犯ボランティア」の皆様の協力により登下校時の見守り活動等を継続中。小学校では、自分の目で直接通学路の危険箇所を確認し「地域安全マップ」を作成した。村でも公用車2台による「青色防犯パトロール車」で、週2回をめぐりに村内の防犯パトロールを行う予定。

▼「村民スポーツ月間2006」を10月に開催。スポーツに触れる機会を多く作り、スポーツに対する意欲向上と健康で心豊かな生活のできる村づくりに資するイベントとしたい。



## 栗駒 秋の正装

さいから  
賽の碯にて 2006.10.4

四季の ONE  
SHOT

# 私もひとごと



田子内  
菊地 香菜さん  
(東成瀬中学校2年)

「優しいイチゴの味」

今年の6月、私をふくめた5人で通学路やバイパスのクリーンアップを行いました。思っていたよりもゴミが多く、中でもたばこの吸い殻が一番多かったです。私はポイ捨てをしている人が東成瀬村にいたと思うと本当に悲しかったです。

そのように思いながらゴミを拾っていると、畑にいたおばあちゃんが私たちにイチゴをくれました。そのイチゴの味は、甘くておいしかったし、何より、おばあちゃんの温かさが入っているような優しい味でした。

この出来事があった、東成瀬村の人たちの優しさや温かさを改めて感じる事ができました。そして人の温かさこそが東成瀬村のよさだと思いました。

これからはそんな村に感謝しながら、ぬくもりのある村を守っていかねばならないと思っています。また、そのために、今自分が出来る事はなんだろうと考えながら生活していきたいと思っています。

## 編集室

輸入食品を敬遠し、国産品に拘ることがよく分かった。日本でも、残留農薬基準（ポジティブリスト）という食の安全志向がクローズアップされている。

日本は食糧自給率四十パーセント。自動車など輸出の担保としての食糧の輸入と言われるが、EU諸国では農家の所得補償にEU予算の半分をつぎ込んで自給率を達成したという。アメリカなども農業所得補償は余りにも多額で、日本の比ではないようだ。「食糧を自給できない国は国ではない」と語ったという大統領の言葉が頷ける。

しかし、遺伝子組換え穀類や残留農薬が日本の何百倍もの農作物が輸入され、また、ヤコブ病という人間にも感染するというBSE感染の牛肉が輸入され話題を呼んだ。輸入食糧品がこれほど恐ろしいことを改めて感じる。

天高く馬肥ゆる秋。日本の国土、領海から採れる安全、安心な食糧を腹一杯食って心身共に肥ゆる民でありたい。

(委員・佐々木健夫)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会  
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3260  
E-mail:gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所